

## 伊那新校（仮称）の施設整備について（素案）

R3. 12. 21 現在  
高校教育課・高校再編推進室

- 新校の施設整備に係る基本コンセプトやポイントについては、現在、営繕部局や財政担当部局と調整を進めています。
- なお、調整中につき変更となる場合もありますが、施設整備に関する概ねの工程は、次のとおりと考えられます。

### 1 施設整備の基本コンセプトについて

県立高校施設の著しい老朽化と社会や学びの変化に対応し、学習空間デザインや ZEB 化等による新しい時代にふさわしい学校施設への転換を図り、質的向上の実現を目指していきます。

### 2 施設整備のポイントについて

- 新校の開校に向けた所要施設（校舎等）の整備等については、従来の標準的な校舎整備によらず、新たな視点を加えて進めていきます。

《新たな視点》

- ・ Z E B 化の推進

自然環境を最大限活かす建築的工夫、設備の省エネルギー化+創エネルギー など

- ・ 学習空間デザイン・面的整備

施設全体を考え、探究的な学びに対応した使いやすい学習空間を創出 など

### 3 伊那新校の施設整備に係る概ねの工程について

#### (1) 統合に係る県議会の同意



#### (2) 設計関連業務（予算措置を県議会で議決）

- ①新校建設 Z E B ・デザイン基本計画（仮称）の策定
  - ・プロポーザル方式で事業者を選定
  - ・新校の学校施設（学習空間デザイン等）の全体構想を策定
- ②整備する施設の基本設計
- ③整備する施設の実施設計

設計関連業務  
（①～③）の  
所要期間は、  
概ね 3 年間



#### (3) 工事関連業務（予算措置を県議会で議決）

- ①施工業者との契約まで概ね 6 ヶ月程度（県議会で議決）
- ②契約後の工事期間は、概ね 27 ヶ月以上と見込まれる

新校舎の供用  
（一部）開始  
まで、概ね 3  
年程度は必要